

浜松景気ウォッチャー調査の結果について

2022年5月期

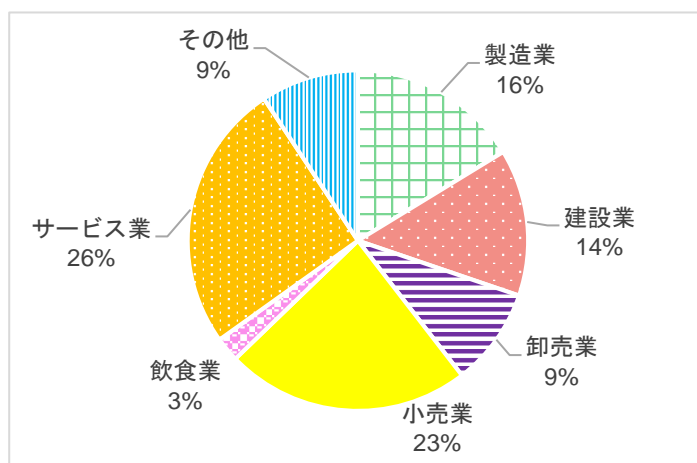
浜松商工会議所

調査趣旨

浜松商工会議所では、浜松地域の業況と業界動向、地域における問題点を把握するため、2022年度景気ウォッチャー調査員（67名）を対象に、WEBアンケート調査を行いました。

回答者数は43名（回答率は64.1%）

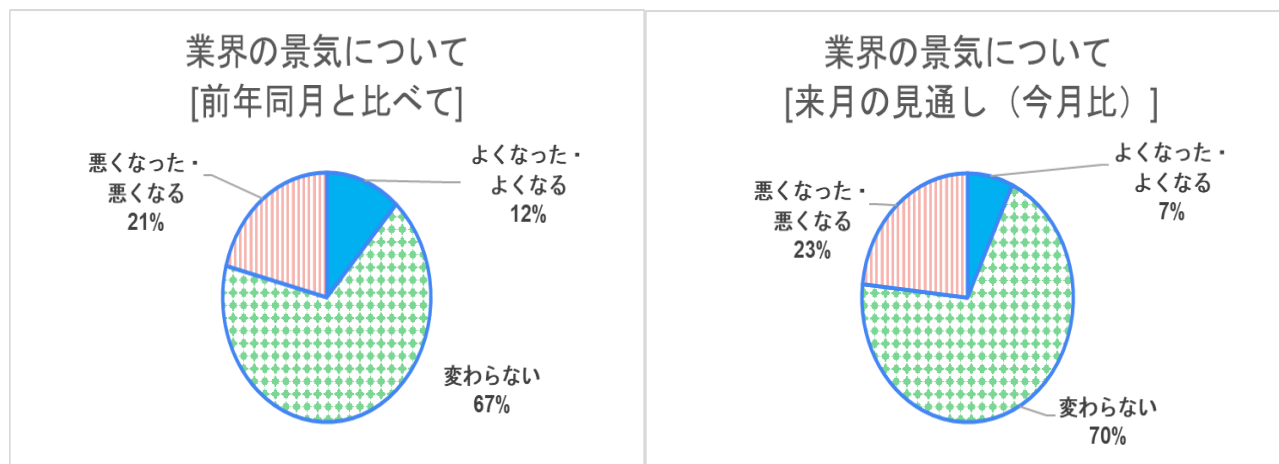
業種	回答者数	構成比
製造業	7	16.2%
建設業	6	13.9%
卸売業	4	9.3%
小売業	10	23.2%
飲食業	1	2.3%
サービス業	11	25.5%
その他	4	9.3%
計	43	100.0%



調査結果のポイント

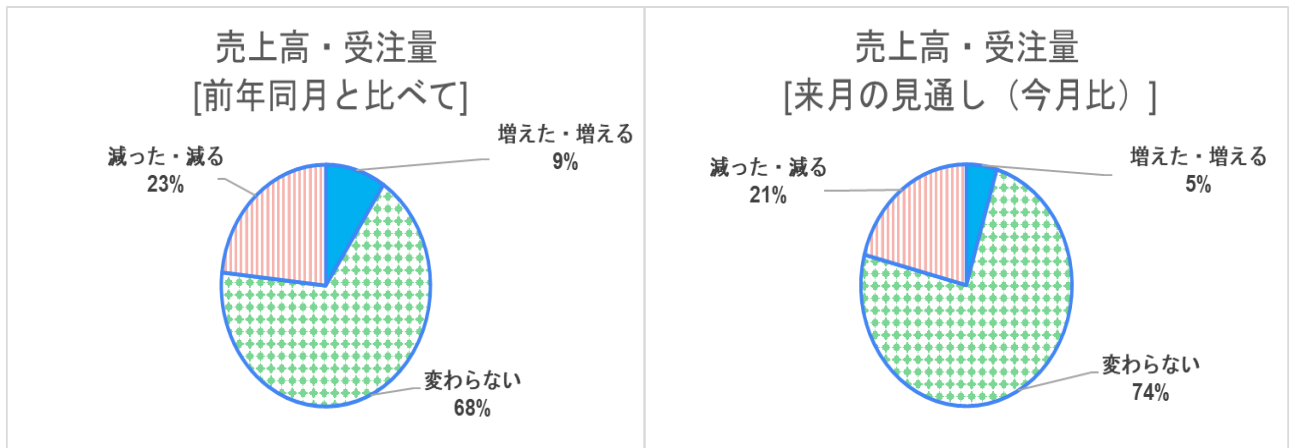
<景況>

- ・2022年5月の業界の景況について、前年同期と比較して、「よくなった」が11.6%、「変わらない」が67.4%、「悪くなった」が20.9%となりました。
- ・2022年6月以降の見通しについて、5月と比較して、「よくなる」が7.0%、「変わらない」が69.8%、「悪くなった」が20.9%となりました。



<売上高・受注>

- ・2022年5月の売上高・受注に関して、前年同期と比較して「増えた・増える」9.3%、「変わらない」が67.4%、「減った」が23.3%となりました。
- ・2022年6月以降の見通しについて、5月と比較して、「よくなる」が4.7%、「変わらない」が74.4%、「減った」が20.9%となりました。



【調査対象者のコメント】

業界区分	業界内に関するコメント
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・業界的にも去年の同じ時期より増えている傾向にある。 <菓子小売業(製・小)> ・材料不足のため材料費が高騰している。得意先がその負担額を売上に上乘せしてくれることになっているが、材料の仕入代金の支払い時から売上入金時までの期間が長いので、その間の資金の確保が必要となっている。 <税理士> ・原材料の値上がりが激しい。 <木製品(製)> ・人手不足で人材確保に努めているが、新卒・中途とも採用難を強く感じる。 <事業協同組合(ものづくり)> ・自動車業界の操業短縮で稼働時間が短い。 <事業協同組合(鍍金)> ・9月あたりに更なる大幅な値上げがくるようだ。みんな戸惑いが大きく、注文に慎重さがでている。 <注染ゆかた(加)> ・6月、7月と価格の変更がきている。まだまだ上昇しそう。 <木製家具(製)>
建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナとウクライナ情勢による木材の高騰で、工事価格が上がってしまい、お施主さんの予算と調整するのが難しい。 <建築工事業> ・ますます厳しく、いい話も聞かない。 <サッシ・ドア(製)> ・原材料の高騰。 <木製家具(製)>
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・給湯器の入荷が不安定。 <ガス機械(卸)> ・値上幅が大きくなり仕入価格が高騰している。 <ピアノ・オルガン部品(製・卸)> ・飲食店とのお取引が主だが、コロナの落ち着きとともに注文回数とともに注文数が伸びている。 <農産物(卸・加工)> ・ドライバーを募集中しているが、なかなか応募がない。 <菓子材料(卸)>
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・新車納期遅れの影響で、受注停止になる車種が増えてきた。受注もできないとなると、ますますこれからの車販が心配である。 <自動車(小・修)> ・鉄くずの相場が上がっているが、依頼がないので売るものがない。 <鉄材料(販)> ・上海封鎖の影響で部品が入荷しない為、家電製品の製造が著しく遅れている。 <家庭電化製品(販)> ・野菜・果物共に高値ではあるが、比較的安定供給されており、この先梅雨入りで供給がどうなるか不安である。 <事業協同組合(青果)> ・GWに行動規制が解除され、人の動きが活発となった。石油製品販売量も前年に近くまで回復したが、原油価格の上昇は止まらず、政府の補助金も増額されたものの、追いつかない状況。安定した価格の維持が望まれる。 <事業協同組合(石油)> ・仕入金額の上昇と販売単価の下降で利益が出ない。 <花・植木(小)>

小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入品であるLPガス仕入価格は円安の影響を受けて過去最高水準まで上昇しているが、同業者や他エネルギーとの競争や社会情勢等により十分な価格転嫁が出来ず、厳しい経営状況が続いている。 <燃料(小)>
飲食業	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入値上昇で、販売価格に悩んでいる。お客様は戻ってきた。 <茶(加・小)>
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前には到底届かないが、GWではイベントに伴う警備業務が少しずつ戻ってきた。一方で、鹿島・遠州の花火は中止が発表された。警備業の観点から見てもコロナ前に戻るにはまだまだのようだ。 <警備業> ・支援金申請が終了して、これからが経営の力が問われる。お客様を呼ぶのに何をすべきか見つけるきっかけを関与先と築いていきたい。 <税理士> ・コロナ感染以外にも原油高や諸材料不足等、複合的な影響がでている。同業種内でも企業間格差はますます開いているように思われる。付加価値経営の重要度が高まっている。 <税理士> ・依然として新型コロナ感染のリスクはあるが、急激な気温上昇による熱中症リスクも侮れない。故にここらが脱マスクのタイミングではないかと感じている。 <社会保険労務士> ・コロナの感染者が減少しているが、顧客のガードが堅い。 <経営コンサルタント> ・認知症対策の相談が増えた。 <司法書士> ・価格高騰と顧客減少に悩む。 <自動車一般整備業> ・原油高・円安の影響で苦勞している。 <一般貨物自動車運送業>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ここにきて材料の値上げや納期問題が深刻になってきた。 <ディスプレイ業> ・まちなかの人出は増えた感じがするが、飲み代ひとつとっても、単価が下がり、人出=利益とはならない。物価上昇が急激過ぎて、まだまだ厳しい状況は続くと予想される。 <同業団体(商業)> ・仕入価格が5%以上上昇しており部品不足それ以外の経費が増加している。受注はあっても部品不足で生産できないものもある。 <事業協同組合(鉄)> ・インボイス制度が浸透していない。 <実業団体(税務)>

●皆様の声をお聞かせください。

■新型コロナウイルスの被害・影響について

・世界的な新型コロナ流行の影響で部品の供給が不安定となっており、それが製造業の稼働状況を不安定にしている。そのため、それらに付随した物流も滞っており、結果として実車率が下がり、1台あたりの売上も落ちている。 <一般貨物自動車運送業>

・家族などが感染すると陰性であっても濃厚接触者は出勤させることができず、そのフォローにあたる人員の確保など対応に追われている。早くインフルエンザ並みの対応とならないだろうか。 <一般貨物自動車運送業>

■原油・資材価格の高騰、品不足について

・お菓子に使う材料や包装資材も確実に上がっているので値上等をして対応するしかない。 <菓子小売業(製・小)>

・資材の他、日用品の価格高騰。 <ディスプレイ業>

・エアコンの工事部材の値段が高くなってきた。工事価格の値上げを検討しなければならない状況。 <家庭電化製品(販)>

・長期化するロシアのウクライナ侵攻により、小麦不足だけでなく食料品全体の価格が上昇し、影響が出そう。 <事業協同組合(鉄)>

- ・燃料となる軽油価格が高騰している。政府が対策として補助金を出してはいるが、それでも高い。また原油高・円安はエネルギー価格全体が上がる要因にもなっており、冷凍冷蔵倉庫の電気代も高騰している。 <一般貨物自動車運送業>
- ・国の原油高騰対策があまりにもお粗末ではないかと感じている。特に農水省の原油高騰対策は困っている人をふるいにかけてから助成金を出すので、本来の趣旨とは乖離しているように感じている。 <農産物(卸・加工)>
- ・資材板材の高騰による、見積り最終NETの提示金額の熟慮に時間がかかる。 <木製家具(製)>

■インボイス制度について

- ・税理士と相談しながら進めており問題は感じていない。 <一般貨物自動車運送業>
- ・インボイスについて説明するのが難しいし、隅々まで浸透するには時間がかかりそうだ。 <注染ゆかた(加)>

■その他

- ・工事・作業に伴う警備業務は、特段の影響が無くなった。 <警備業>
 - ・マスコミによるコロナ感染者数の表現は、不要だと思う。 <建築設計業>
 - ・脱マスクのタイミングは行政が一斉告知でもしないと無理ではないだろうか。特に子供の熱中症リスクを考えるとマスクはもういらなと思う。 <社会保険労務士>
 - ・補助金の増額。 <ガス機械(卸)>
 - ・補助金・助成金を配布するのは抑制すべき。 <木製品(製)>
 - ・助成金は良いですが、助成金の増額を、お願いしたい。 <家庭電化製品(販)>
 - ・雇用調整助成金は止めないでいただきたい。 <注染ゆかた(加)>
- 以上